

令和6年度 南丹市市民後見人フォローアップ研修(後期) まとめ

1【目 的】

南丹市市民後見人候補者名簿登録者のモチベーションや知識、スキルの維持・向上。
受任している市民後見人のスキルの向上を目的として実施する。

南丹市社会福祉協議会法人後見支援員と重複して登録、活動している方も多く、合同研修を実施することで、権利擁護支援者の選択肢の広がりを目指す。

2【対象者】:南丹市市民後見人候補者名簿登録更新者 12名

南丹市社会福祉協議会法人後見支援員(7名:全員重複登録者)
(参加8名 欠席4名)

※欠席者4名には、後日資料とまとめを郵送

3【実施日】:令和7年2月4日(火)13時30分～16時

4【会 場】:園部文化会館(アスエルそのべ) 大研修室1. 2

5【内 容】:

1 南丹市の権利擁護の状況について

○南丹市社会福祉協議会 生活相談センター
発表者 山田 顕充 (生活相談センター係長)

○南丹市権利擁護・成年後見センター
発表者 岩間 孝弘 (権利擁護・成年後見センター長)

2 南丹市の市民後見、法人後見の事例から学ぶ成年後見制度

～市民後見、法人後見支援員に求められる視点を学ぶ～

○事例1 市民後見人受任ケース A様
発表者 (市民後見人)

○事例2 法人後見受任ケース B様
発表者 (法人後見支援員)

3 グループワーク

～事例から考える後見人に求められる視点とは～

進行 林 高秀 (権利擁護・成年後見センター支援員)

6、出席状況について

対象者数:12人

出席:8人 欠席:4人

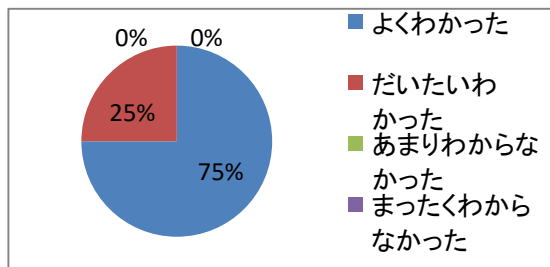
	人数	再掲	
		男性	女性
出席	8	3	5
欠席	4	2	2
計	12	5	7

7、アンケートについて

配布数:8人 回収:8人 回収率:100%

1、南丹市社会福祉協議会、成年後見センターの活動状況について

	人
よくわかった	6
だいたいわかった	2
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	8

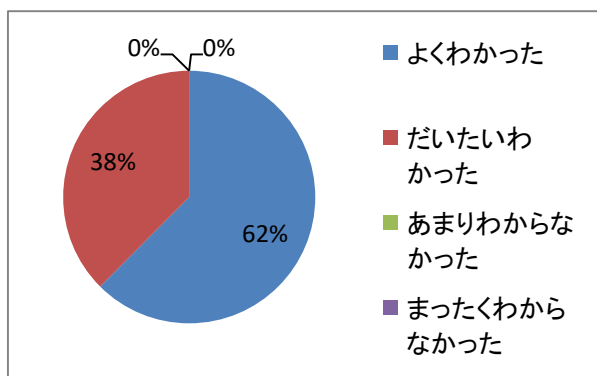


【自由記載】

- 現状がわかった
- 成年後見制度の利用者が増加しているので、若い方の養成講座が開かれることを望みます。
- 現実に行われている状況が聞けて参考になった。
- 問題点などの事例も差し支えない程度に出してもらえればなお理解しやすくなる。

2、市民後見人、法人後見支援員に求められる視点を学ぶ

	人
よくわかった	5
だいたいわかった	3
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	8

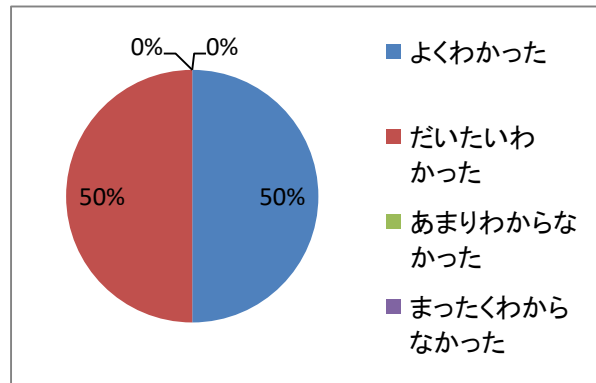


【自由記載】

- 話を聞くことの大切さ。
- あのくらい発表してもらえればおよその内容が理解できる。

3、事例から考える後見人に求められる視点とは

	人
よくわかった	4
だいたいわかった	4
あまりわからなかった	0
まったくわからなかった	0
計	8



【自由記載】

- 本人さんの意向をくむことの難しさをつくづく感じました。
- 本人の意思を引き出し、より良い支援を考える。
- 関係者(チーム)からの情報収集は重要である。
- 後見活動体験者も出てきて意見交換が出来るのはスキルアップになる。
- 意思決定支援の難しさをあらためて感じました。
- 相手を尊重し一歩、一歩進んでいこうと思います。
- それぞれの意見考え方がよくわかってよかった。

【その他、ご意見、ご提案等、自由記載】

- こういった研修は大切だと思います。また繰り返し開催をして欲しいです。
- 保佐人の決定はいけないので、本人の意思決定に向けた取組を考えるプロセスの大切さが感じられる。
- 人材養成講座を実施して欲しい。
- こんな研修(市民が発表・受講)ができること、素晴らしいです。
- 方向性は分かりましたが、実際のなかで、グループのなかで行うことにより良い方向にむかうのではと感じました。
- 今くらいの人数ならば開催日を何日かあげて回答するようにしては。